



連結業績の概要

2016年度第3四半期

2017年2月1日

ジェームス・キーホー

チーフ フィナンシャル オフィサー

武田薬品工業株式会社



重要な注意事項

将来見通しに関する注意事項

本資料には、見積り、予測値、目標値及び計画値等の、当社の将来の事業、財務状態及び経営成績に関する「見通し情報」が含まれています。これらの見通し情報は、「目指す」、「予測する」、「仮定する」、「確信する」、「継続する」、「試みる」、「見積もる」、「予期する」、「予想する」、「施策」、「意図する」、「可能性がある」、「見通し」、「計画」、「潜在的な」、「蓋然性」、「試算」、「企画」、「リスク」、「追求する」、「はずである」、「努力する」、「目標とする」、「予定である」及びその類義語（これらに係る否定的な表現も含まれます。）等の将来予測に関する用語の使用、又は戦略、計画若しくは意図に関する議論により特定可能な場合があります。

本資料中のあらゆる見通し情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の現時点における仮定及び判断に基づいています。かかる見通し情報に関して、当社及び当社の経営陣は将来の業績に係るいかなる保証もするものではなく、また、当該見通し情報には、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要素が含まれています。そのような要素の例としては、日本、米国及び世界全体の一般的な経済情勢を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競争圧力及び競争の激化、適用法令、新製品開発計画の成否、規制当局の決定及びそのタイミング、為替相場の変動、製品又は開発品の安全性や有効性に関するクレーム又は懸念、並びに買収対象会社との経営統合等がありますが、これらに限定されるものではなく、またいずれかの要素に起因して、当社の実際の業績や財務状態が、見通し情報により表示又は示唆されている将来の業績や財務状態から大きく乖離する可能性があります。当社及び当社の経営陣は、見通し情報において表示されている予測が現実となることを保証するものではなく、実際の業績は予測と大きく異なる可能性があります。

本資料に含まれる見通し情報は、本資料の日付時点のものに過ぎず、今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社及び当社の経営陣は、本資料に含まれる見通し情報の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

製品情報に関する注意事項

本資料には、当社の製品情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で販売されているものではありませんし、また国によって商標、効能、用量等が異なる場合もあります。また、本資料に記載されている医療用医薬品（開発品を含む）の情報は、そのような製品を宣伝・広告するものではありません。



重要な注意事項

公開買付けに関する将来見通しの注意事項

本資料には、当社とARIAD社、および当社によるARIAD社の買収に関する「見通し情報」が含まれており、これらの情報には、本資料の記述によって表明、または暗示される結果と実際の結果とが著しく異なる可能性が生じるという重大なリスク、および不確実性が伴います。本資料における見通し情報には、以下のような予言的な性格の言葉、未来の不確定な出来事や状況に言及する言葉が多数使われております：「思われる」「予定である」「予測される」「予想される」「見積もられる」「期待される」「つもりである」「戦略」「将来的」「チャンス」「かもしれない」「～しそうな」「～するであろう」「～すべきであろう」「～できるであろう」「潜在的な」などがほんの一例として挙げられます。とりわけ、本買収によって想定されるベネフィット、予想される利益増と成長率、当社とARIAD社の計画・目標・期待・意図、財務状況、当社とARIAD社の事業活動の成果、ARIAD社の製品、ARIAD社のパイプライン製品および本買収の完了予定時期が含まれます。リスクと不確実性には、とりわけ、次のものが含まれます：本公開買付けに何人のARIAD社株主様が応募するかに関する不確実性や本買収がクローズしない可能性を含め、本買収のクロージング条件が想定期間内には満足されない、または全く満足されないことに関するリスク(必要な規制承認が取得できないリスクを含みます)；本買収により期待されるベネフィットが実現できない、または期待された期間内に実現できない可能性を含めた、本買収により想定されるベネフィットを実現する能力に関するリスク；事業が成功裏に統合されないリスク；本取引による混乱から取引関係やオペレーション関係を維持することがより困難となるリスク；本買収の発表または実行による当社普通株式の市場価格および当社の事業結果に対する否定的な効果；著しい取引費用；不知の債務；本買収に関連する訴訟および/または規制指令のリスク；業界・市場・経済・政治または規制の状況の影響を含むその他の事業上の影響；将来の為替および金利；税法またはその他の法規制、料率およびポリシーの変更；将来の事業の統合または処分；競争・償還・経済上のチャレンジが増大する中でARIAD社製品の売上成長率を維持・増大させる能力を含め、研究開発に内在する不確実性；ARIAD社の製品またはパイプラインに関して医薬品申請をいかなる国・地域においていかなる効能・追加効能について行うか否か、またいつ行うか；FDAまたはその他の規制当局が上記申請を許可するか否か、またいつ許可するか(これらは、総合的な有効性と安全性に対するベネフィット・リスクに関する提出書類の評価に左右される)；ラベリングおよびその他の事項に関するFDAまたはその他の規制当局の決定が、ARIAD社の製品およびパイプラインの市場への流通、または販売ポテンシャルに影響し得ること；他社との競争状況。実際の結果が著しく異なる原因となり得るその他の事項には、当社とKiku Merger Co., Inc. により申請された Schedule TOIに基づく公開買付説明書およびその他の公開買付けの資料に記載するものが含まれます。

これら事項の多くは当社のコントロールの及ばないものです。適用される法が命じる場合を除いて、今後、新しい情報・将来の出来事・進展等があった場合でも、当社は、本資料に含まれる見通し情報の更新を行う意図や義務を負うものではありません。



重要な注意事項

公開買付けに関する追加情報

本資料は情報提供の目的のみで開示されるもので、いかなる証券に関する買付けの申込みや売却の勧誘を構成するものではありません。本資料記載の公開買付けは、当社(武田薬品工業株式会社)とKiku Merger Co., Inc.が2017年1月19日にSECに申請しました Schedule TOIに基づく公開買付説明書(買付申出、譲渡証フォーマットや公開買付けに関するその他書類を含む)及びその改訂版に従い行われているものです。また、ARIAD Pharmaceuticals, Inc. (ARIAD社)も2017年1月19日に本公開買付けに関する Schedule 14D-9に基づく意見表明書(その後の改訂版を含む)をSECに申請いたしました。当社、Kiku Merger Co., Inc.およびARIAD社は、ARIAD社の株主様にこれらの書類を郵送する予定です。これらの書類及びその改訂版には本公開買付けに関する重要な情報が含まれておりますので、投資家の皆様および株主様におかれましては、これらの書類を注意深くお読みいただきたく存じます。これら書類はSECのウェブサイト(www.sec.gov)でも無料で入手可能です。本公開買付け申込みおよび関連資料は、本公開買付けの情報エージェントと連絡をお取りいただければ無料で入手可能です。



戦略フォーカスによる利益成長：

実質的な売上収益 +7.4%、Core Earnings +23.5%、Core EPS +31.7%

財務ベース(第3四半期累計): 力強い利益実績

- 売上収益は5.6%の減収、為替影響 ($\Delta 8.4\text{pp}$) および事業等の売却影響 ($\Delta 4.5\text{pp}$) による
- 営業利益は29.8%の増益、実質的な成長およびテバ社との合併会社に係る事業譲渡益が事業等の売却影響と減損損失の影響を吸収
- EPSは前年同期145円から46.3%増加し212円
- 営業フリー・キャッシュ・フローは9.3%増加し1,200億円

実質ベース(第3四半期累計): 引き続き想定以上の実績

- 売上収益は7.4%の増収、成長ドライバーは15.5%の増収
- Core Earningsは23.5%の増益、売上収益比率は2.1pp上昇
- Core EPSは31.7%増加、Core Earningsの力強い成長と税金計上タイミングが貢献

持続的に力強い実績ふまえ、年間見通しを上方修正



損益計算書 (財務ベース)

第3四半期累計EPSは前年同期から+46.3%の成長

	15年度 第3四半期累計	16年度 第3四半期累計	増減 (億円)	
売上収益	13,933	13,158	$\Delta 774$	$\Delta 5.6\%$
売上総利益	9,908	8,915	$\Delta 993$	$\Delta 10.0\%$
率	71.1%	67.8%		$\Delta 3.4\text{pp}$
販売費及び一般管理費	$\Delta 4,755$	$\Delta 4,394$	+362	$\Delta 7.6\%$
研究開発費	$\Delta 2,475$	$\Delta 2,238$	+237	$\Delta 9.6\%$
Core Earnings	2,679	2,283	$\Delta 395$	$\Delta 14.8\%$
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	$\Delta 971$	$\Delta 1,022$	$\Delta 50$	+ 5.2%
その他の営業収益/費用	$\Delta 32$	913	+945	NA
営業利益	1,675	2,174	+499	+ 29.8%
率	12.0%	16.5%		+4.5pp
金融収益/費用	$\Delta 133$	$\Delta 82$	+51	$\Delta 38.1\%$
持分法による投資損益	4	$\Delta 4$	$\Delta 8$	NA
税引前当期利益	1,546	2,088	+542	+ 35.1%
法人所得税費用	$\Delta 382$	$\Delta 408$	$\Delta 25$	+ 6.6%
非支配持分	$\Delta 27$	$\Delta 24$	+4	$\Delta 13.1\%$
当期利益	1,136	1,657	+520	+ 45.8%
EPS	145 円	212 円	+67 円	+ 46.3%
Core EPS	240 円	229 円	$\Delta 11 円$	$\Delta 4.4\%$



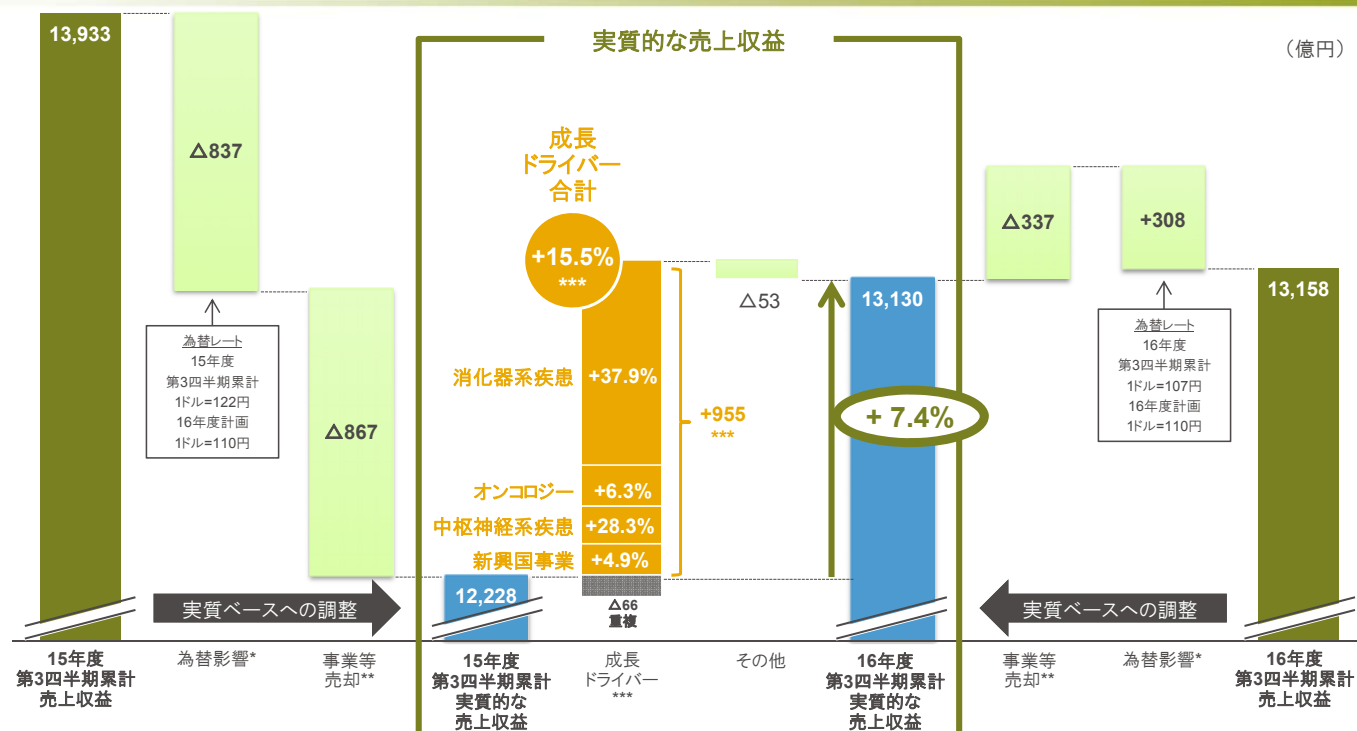
損益計算書（実質ベース）

売上収益+7.4%、Core Earnings+23.5%、Core EPS+31.7%

	15年度 第3四半期累計	16年度 第3四半期累計	増減 (億円)	
実質的な売上収益	12,228	13,130	+902	+ 7.4%
実質的な売上総利益	8,456	8,967	+511	+ 6.0%
率	69.2%	68.3%	△0.9pp	
販売費及び一般管理費	△4,410	△4,536	△125	+ 2.8%
研究開発費	△2,315	△2,292	+22	△ 1.0%
実質的なCore Earnings	1,731	2,139	+408	+ 23.5%
率	14.2%	16.3%	+2.1pp	
金融収益/費用	18	△35	△53	NA
持分法による投資損益	4	6	+1	+ 23.4%
実質的なCore税引前当期利益	1,754	2,110	+356	+ 20.3%
法人所得税費用	△460	△415	+45	△ 9.7%
非支配持分	△26	△24	+2	△ 9.6%
実質的なCore当期利益	1,268	1,671	+403	+ 31.7%
実質的なCore EPS	162 円	213 円	+51 円	+ 31.7%



実質的な売上収益は+7.4%の増収 +15.5%の成長ドライバーが牽引

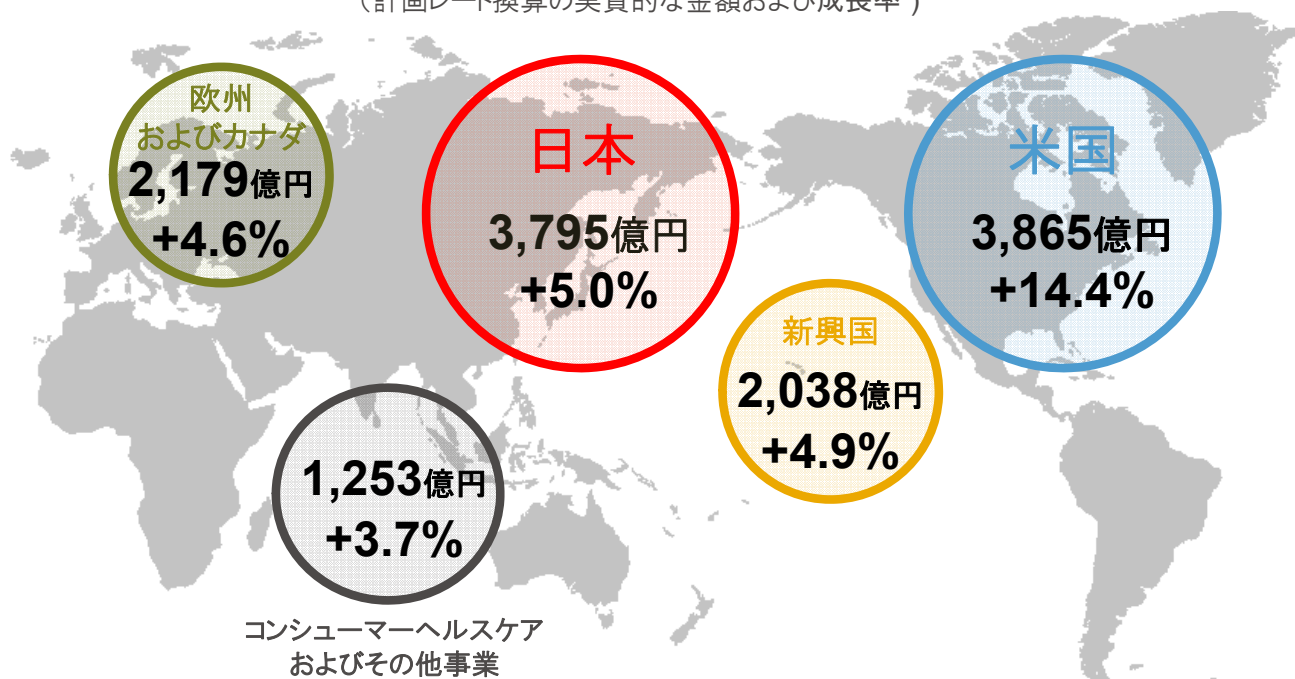


*為替影響は、前期および当期に、16年度計画レート(1ドル=110円、1ユーロ=125円)を適用して算出しています。
 **事業等の売却影響には、日本の長期収載品、肥満症治療剤コントレップ、呼吸器系疾患領域の製品にかかる売却影響やMyovant社へのrelugolixの導出影響等を含めています。詳細はAppendixをご参照ください。
 ***全体成長率は、消化器系疾患、オネコロジー、中枢神経系疾患、新興国事業の売上合計から重複を排除して算出しています(例:新興国事業とオネコロジーにおけるアドセリス等)。詳細はAppendixをご参照ください。

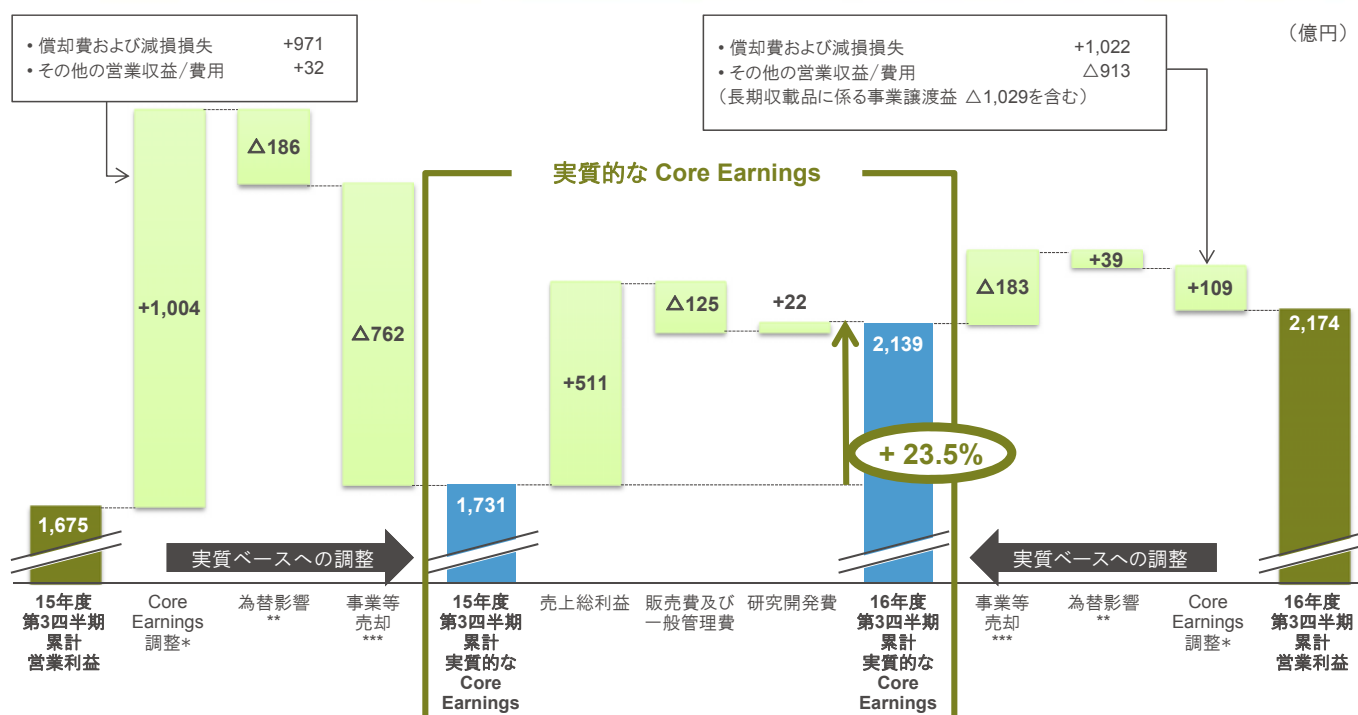


全ての地域で売上収益が伸長

実質的な売上収益 16年度第3四半期累計 連結合計: 13,130億円、+7.4%
(計画レート換算の実質的な金額および成長率)



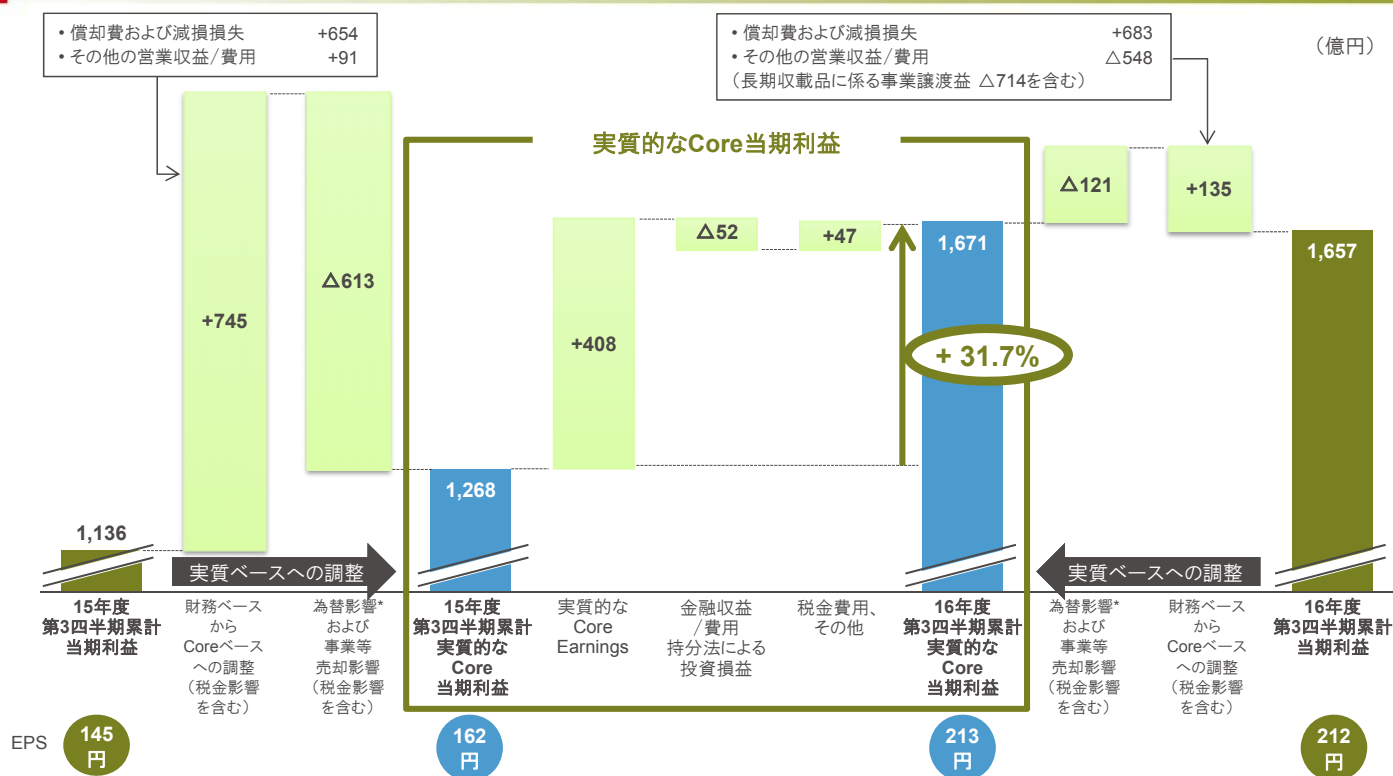
実質的なCore Earnings+23.5%の成長は 売上収益、コスト管理および費用発生の期ずれによる



*財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載していますエクセルの調整表をご参照ください。
 **為替影響は、前期および当期に、16年度計画レート(1ドル=110円、1ユーロ=125円)を適用して算出しています。
 ***事業等の売却影響には、日本の長期収載品、肥満症治療剤コントレブ、呼吸器系疾患領域の製品にかかる売却影響やMyovant社へのrelugolixの導出影響等を含めています。詳細はAppendixをご参照ください。



実質的なCore当期利益/EPSは+31.7%の成長、Core Earningsの成長と税金計上タイミングが貢献



11 *為替影響は、前期および当期に、16年度計画レート(1ドル=110円、1ユーロ=125円)を適用して算出しています。

武田薬品工業株式会社



営業フリー・キャッシュ・フローは+9.3%増加し1,200億円

(億円)

	15年度 第3四半期累計	16年度 第3四半期累計	増減	
四半期利益	1,164	1,680	+517	+44.4%
減価償却費、償却費及び減損損失	1,454	1,475	+21	
運転資本増減(△は増加)	△ 667	△ 623	+45	
法人税等の支払額	△ 299	△ 101	+198	
その他*	55	△ 655	△710	
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,706	1,777	+71	+4.2%
有形固定資産の取得	△ 388	△ 423	△35	
無形資産の取得**	△ 219	△ 154	+65	
営業フリー・キャッシュ・フロー	1,098	1,200	+102	+9.3%

*「その他」からは新興国の事業開発案件(デュー・デリジェンスとその他のクローリング条件が満たされた後に完了予定)にかかるエスクロー口座への支払い408億円を除いています。
**「無形資産の取得」からは、将来ロイヤリティ支払いにかかる権利を買い戻した157億円の支払いを除いています。



力強い累計実績をふまえ、年間見通しを上方修正

マネジメントガイダンス(実質ベース)

- 力強い利益成長をふまえ、年間の利益ガイダンスを引き上げ

公表予想(財務ベース)

- 売上収益は16,700億円から17,000億円に上方修正
- Core Earnings増益により、ARIAD社買収およびその他の一時費用の影響を吸収
- ARIAD社買収影響
 - 2018年度までにCore Earnings向上に貢献
 - 2016年度の営業利益にはマイナス影響(90~100億円)
 - 2017年度の無形資産償却費見込みは200~210億円
- 当期利益は約2%増益修正、税率低下を反映

株主還元強くコミット、配当が重要な還元策



実質的なCore Earningsおよび実質的なCore EPSのガイダンスを上方修正

FY2016 マネジメントガイダンス

	前回公表ガイダンス 2016年10月28日	今回公表ガイダンス 2017年2月1日
実質的な売上収益	1桁台半ばの成長 (%)	1桁台半ばの成長 (%)
実質的な Core Earnings	10% 台半ばから後半の成長 (%)	10% 台後半の成長 (%)
実質的な Core EPS	10% 台前半から半ばの成長 (%)	10% 台半ばの成長 (%)
1株当たり年間配当金	180円	180円



Core Earningsは160~170億円増加し、研究開発体制の変革にかかる導入費用の前倒しとARIAD社の買収影響を吸収

年間公表予想(財務ベース)

	(億円)	
	前回公表予想 2016年10月28日	今回公表予想 2017年2月1日
売上収益	16,700	17,000
研究開発費	△ 3,100	△ 3,150
営業利益	1,350	1,350
税引前当期利益	1,325	1,325
当期利益	910	930
EPS	116円	119円
換算レート (年間平均レート)	円/ドル 104	円/ユーロ 109
	円/ユーロ 117	120

	億円
Core Earnings	+160~+170
研究開発体制の変革 にかかる導入費用	△ 70
ARIAD影響	△ 90~△ 100
営業利益	—

- ✓ 研究開発体制の変革にかかる導入費用の総額見込みは750億円から変更ありません。現時点において、16年度に470億円、17年度に280億円の発生を見込んでいます。
- ✓ 無形資産の償却費および減損損失(条件付対価の取崩益との純額)は、80億円増加し、1,380億円を見込んでいます。
- ✓ テバ社との合併会社にかかる16年度影響額は変更ありません。売上収益 約100億円、長期収載品に係る事業譲渡益 1,029億円、持分法による投資損益およびその他営業収益 約100億円、税引前当期利益 約1,200億円(一時的な事業譲渡益を除くと約200億円)



Appendix



Coreと「実質的な成長」の定義

Coreの概念

Core Earningsは、売上総利益から、販売費及び一般管理費、および、研究開発費を控除して算出します。さらに、non-coreの性質で金額の大きい影響を調整します。ここには、自然災害の影響、企業買収に係る会計処理の影響、主な訴訟費用、事業構造再編費用、政府による法令変更の影響などが含まれます。説明責任及び信頼性を保証するため、これらを控除する際の金額基準は「10億円以上」と高く設定しています。

Core EPSの算出にあたっては、Core Earningsから、営業利益以下の各科目のうち、non-coreの性質で金額の大きい影響(10億円以上)を調整します。ここには、条件付対価に係る公正価値変動影響などが含まれます。さらに、これらにかかる税金影響に加え、上記のCore Earnings調整にかかる税金影響を合わせて調整します。

実質的な成長

実質的な成長とは、持続的な事業活動のパフォーマンスを実質的に把握する目的で、当期と前年同期(四半期あるいは年間)の業績を共通の基準で比較するものです。このため、各期間を共通の為替レートで換算し、また、事業等の売却影響を調整します。

共通の為替レート:グローバルに事業を展開している当社の業績は、様々な通貨の為替レート変動による影響を受けます。従って、異なる期間の業績比較は、換算に使用する為替レートの違いにより歪みが生じることがあります。このため、為替変動による影響を排除して業績の比較を容易にし、実質的な成長を把握するため、共通の為替レート(CER: Constant Exchange Rates)を異なる期間それぞれに適用します。これには通常、当期の計画レートを使用します。



成長ドライバー



成長ドライバーは力強い伸長を維持

実質的な売上成長

16年度
第3四半期累計 対前年同期
(億円)

消化器系疾患*	2,405	+37.9%	
オンコロジー**	2,555	+6.3%	
中枢神経系疾患	518	+28.3%	
新興国事業*	2,038	+4.9%	
成長ドライバー***	7,105	+15.5%	タケダ連結売上 成長ドライバー比率 54%

* 新興国でのパントプラゾールの売上は、新興国での主力製品であるため新興国事業に含め、消化器系疾患(GI)には含めておりません。その他の地域でのパントプラゾールの売上はこのスライド中には含まれておりません。

** ベルケイドのロイヤリティおよびその他の収益を除いたオンコロジーの実質的な成長率は+7.6%です。

*** 全体成長率は、消化器系疾患、オンコロジー、中枢神経系疾患、新興国事業の売上合計から重複を排除して算出しています。(例:新興国事業とオンコロジーにおけるアドセトリス等)



消化器系疾患、オンコロジーおよび中枢神経系疾患の成長ドライバー（実質的な売上成長）

実質的な売上成長

	15年度		16年度		実質的な成長	
	第3四半期累計	第3四半期累計	第3四半期累計	第3四半期累計		
エンティビオ	541	1,068	+527	+97.5%		
タケキャブ	42	247	+204	NA		
アミティーザ	262	269	+7	+2.5%		
デクスラント	511	487	△24	△4.7%		
ランソプラゾール*	388	335	△53	△13.6%		
消化器系疾患	1,744	2,405	+661	+37.9%		
ニンラーロ	5	214	+209	NA		
アドセトリス	187	228	+41	+21.9%		
ベクティビックス	142	146	+3	+2.4%		
リュープロレリン	927	901	△25	△2.7%		
ベルケイド	1,143	1,066	△77	△6.7%		
オンコロジー	2,404	2,555	+151	+6.3%		
トリンテリックス**	163	236	+72	+44.3%		
ロゼレム	116	142	+26	+22.1%		
レミニール	124	136	+12	+9.5%		
コパキソン	0	5	+5	NA		
中枢神経系疾患	404	518	+114	+28.3%		

* 日本におけるランソプラゾール(国内製品名:タケブロン)の単剤は16年度にテバ社との合併会社へ移管されたため15年度の売上収益を調整しています。

** 「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」から変更して販売しています。



消化器系疾患、オンコロジーにおける成長ドライバー (製品プロファイル)

消化器系疾患における成長ドライバー*

製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1 ランソプラゾール	1992/12	プロトンポンプ阻害薬	消化性潰瘍
2 アミティーザ	2006/4	クロライドチャンネル開口薬	慢性特発性便秘症
3 デクスラント	2009/2	プロトンポンプ阻害薬	逆流性食道炎
4 エンティピオ	2014/6	ヒト化抗 $\alpha 4\beta 7$ インテグリンモノクローナル抗体	潰瘍性大腸炎、クローン病
5 タケキャブ	2015/2	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー	酸関連疾患

オンコロジーにおける成長ドライバー

製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1 リュープロレリン	1985/5	LH-RH アゴニスト	前立腺がん
2 ベルケイド	2008/5	プロテアソーム阻害薬	多発性骨髄腫
3 ベクティビックス	2010/6	ヒト型抗EGFRモノクローナル抗体	進行・再発の結腸・直腸がん
4 アドセトリス	2012/11	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体	再発・難治性のホジキンリンパ腫
5 ニンラーロ	2015/12	経口プロテアソーム阻害薬	多発性骨髄腫

*バントプラゾールは、新興国での主力製品であるため新興国事業に含め、消化器系疾患(GI)には含めていません。

**世界市場において当社が最初に発売を開始した年月を表示しています。



中枢神経系疾患における成長ドライバー (製品プロファイル)

中枢神経系疾患における成長ドライバー

製品名／一般名	発売年月**	薬効	主な適応症
1 ロゼレム	2005/9	MT ₁ /MT ₂ 受容体作動薬	不眠症
2 レミニール	2011/3	アセチルコリンエステラーゼ阻害・ニコチン性アセチルコリン受容体増強薬	アルツハイマー型認知症
3 トリンテリックス*	2014/1	多重作用メカニズム型抗うつ薬	大うつ病
4 コパキソン	2015/11	免疫調整薬	多発性硬化症の再発予防

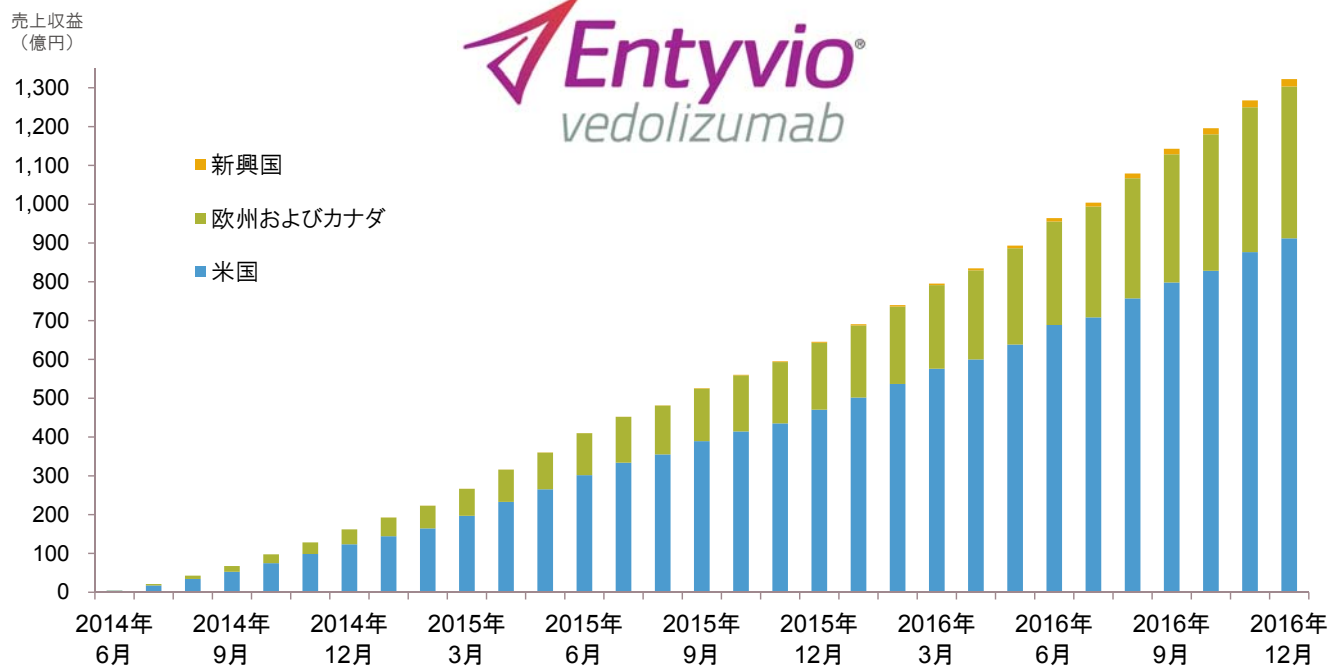
*「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」から変更して販売しています。

**世界市場において当社が最初に発売を開始した年月を表示しています。



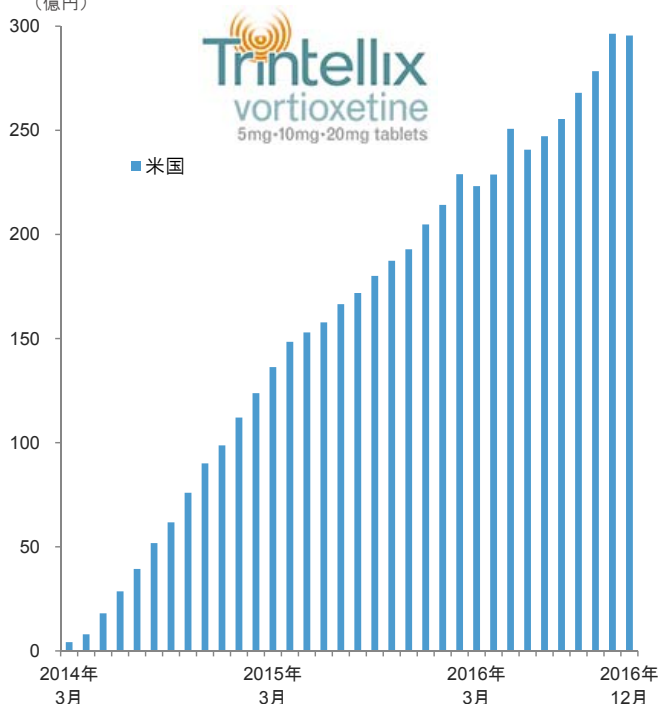
エンティビオ®は10億ドルの売上 (MAT*) を達成 2018年度中に20億ドルを超える売上 (MAT) に向け順調に進捗

同一為替レート換算のMAT*(Moving Annual Total(移動通年合計))売上収益

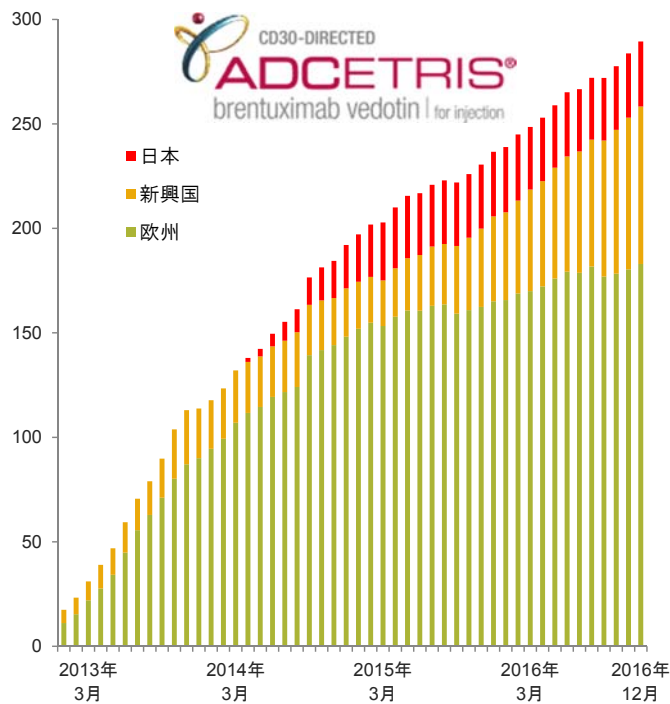


トリンテリックス®とアドセトリス®は引き続き力強く伸長

(注)「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」から変更して販売
売上収益 (億円)



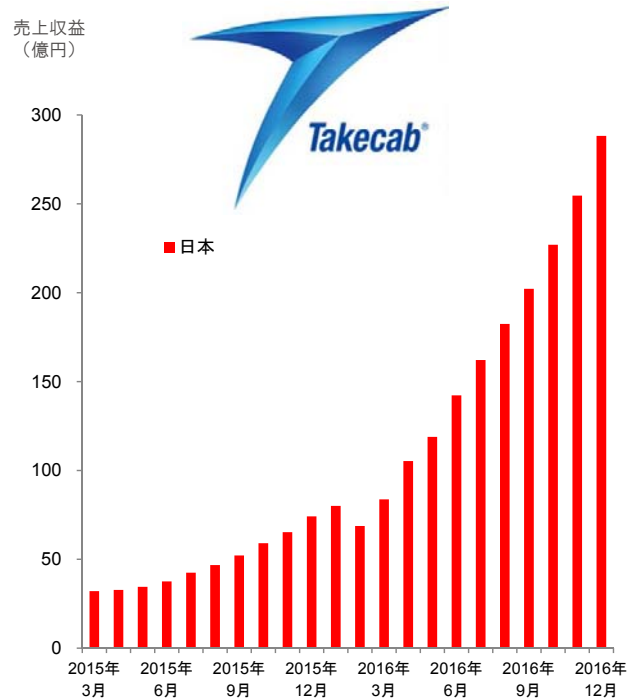
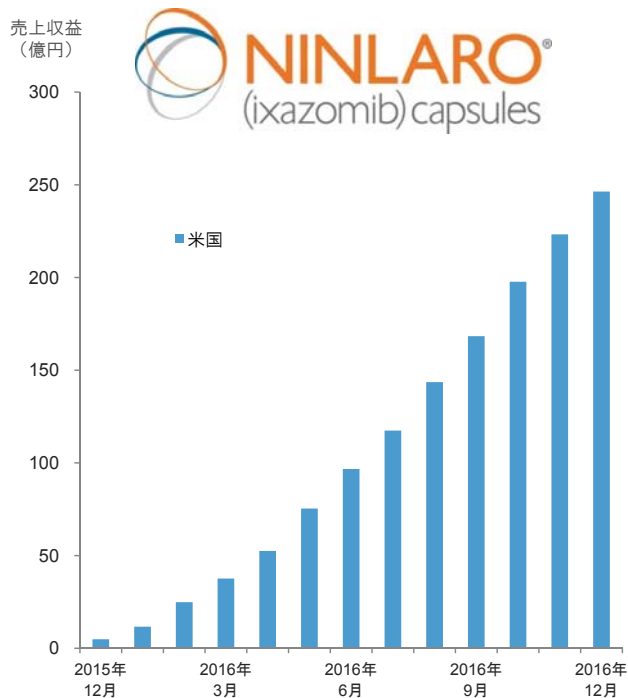
同一為替レート換算のMAT*(Moving Annual Total(移動通年合計))売上収益
売上収益 (億円)





ニンラーロ®とタケキャブ®の良好な立ち上がり

同一為替レート換算のMAT*(Moving Annual Total(移動通年合計))売上収益



損益計算書



損益計算書（財務ベース）〔第3四半期累計〕

	15年度 第3四半期累計	16年度 第3四半期累計	増減		(億円)
売上収益	13,933	13,158	△774	△ 5.6%	*1
売上総利益	9,908	8,915	△993	△ 10.0%	
率	71.1%	67.8%		△3.4pp	*2
販売費及び一般管理費	△4,755	△4,394	+362	△ 7.6%	
研究開発費	△2,475	△2,238	+237	△ 9.6%	
Core Earnings	2,679	2,283	△395	△ 14.8%	
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△971	△1,022	△50	+ 5.2%	
その他の営業収益/費用	△32	913	+945	NA	*3
営業利益	1,675	2,174	+499	+ 29.8%	
率	12.0%	16.5%		+4.5pp	
金融収益/費用	△133	△82	+51	△ 38.1%	
持分法による投資損益	4	△4	△8	NA	
税引前当期利益	1,546	2,088	+542	+ 35.1%	
法人所得税費用	△382	△408	△25	+ 6.6%	*4
非支配持分	△27	△24	+4	△ 13.1%	
当期利益	1,136	1,657	+520	+ 45.8%	
EPS	145 円	212 円	+67 円	+ 46.3%	
Core EPS	240 円	229 円	△11 円	△ 4.4%	

*1 為替影響 (△8.4pp) と 事業等の売却影響 (△4.5pp) による減収を実質的な成長で一部吸収

*2 為替影響 (△1.1pp)、事業等の売却影響 (△1.2pp) および製品価格・構成の変動影響 (△1.1pp) により、売上総利益率は3.4pp減少

*3 テバ社との合併会社への長期収載品事業移管に係る事業譲渡益 (1,029億円)

*4 日本の税制改正影響、Earning Mix (利益構成)による税金費用の減少



テバJV会計処理の影響

2016年度第3四半期累計 テバJV会計処理の影響

	(億円)
事業譲渡益(その他の営業収益に計上)	1,138
Day 1	1,029
Day 2 以降	109
営業利益	1,138
持分法による投資損益	△9
長期収載品にかかる償却費を除いたコア・ビジネス	58
長期収載品にかかる償却費	△67
税引前当期利益	1,129
法人所得税費用	△345
Day 1 事業譲渡益等にかかる税金費用	△312
Day 2 以降の事業譲渡益にかかる税金費用	△33
当期利益	784

- ・ テバJVにおける長期収載品の償却費は事業譲渡益で相殺
- ・ 当期利益への影響は軽微

(注) 製品供給および流通にかかる売上収益影響約100億円(2016年度年間見込)は含めていません。



損益計算書（財務ベース）〔第3四半期〕

	15年度 第3四半期	16年度 第3四半期	増減	
売上収益	4,892	4,650	△242	△ 4.9%
売上総利益	3,442	3,176	△266	△ 7.7%
率	70.4%	68.3%		△2.1pp
販売費及び一般管理費	△1,620	△1,484	+136	△ 8.4%
研究開発費	△892	△718	+174	△ 19.5%
Core Earnings	929	973	+44	+ 4.7%
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	△325	△265	+60	△ 18.5%
その他の営業収益/費用	△34	△155	△121	NA
営業利益	570	554	△17	△ 2.9%
率	11.7%	11.9%		+0.2pp
金融収益/費用	△39	△20	+19	△ 48.5%
持分法による投資損益	△5	5	+10	NA
税引前当期利益	526	538	+12	+ 2.3%
法人所得税費用	78	△114	△192	NA
非支配持分	△11	△11	+1	△ 5.6%
当期利益	593	414	△179	△ 30.2%
EPS	76 円	53 円	△23 円	△ 29.9%
Core EPS	102 円	90 円	△12 円	△ 12.0%



損益計算書（実質ベース）〔第3四半期〕

	15年度 第3四半期	16年度 第3四半期	増減	
実質的な売上収益	4,361	4,682	+321	+ 7.4%
実質的な売上総利益	2,994	3,200	+206	+ 6.9%
率	68.7%	68.4%		△0.3pp
販売費及び一般管理費	△1,522	△1,555	△33	+ 2.2%
研究開発費	△837	△742	+96	△ 11.4%
実質的なCore Earnings	636	904	+268	+ 42.2%
率	14.6%	19.3%		+4.7pp
金融収益/費用	9	△13	△22	NA
持分法による投資損益	△5	0	+5	NA
実質的なCore税引前当期利益	640	892	+252	+ 39.4%
法人所得税費用	△41	△225	△185	NA
非支配持分	△11	△11	+0	△ 1.4%
実質的なCore当期利益	589	657	+68	+ 11.5%
実質的なCore EPS	75 円	84 円	+9 円	+ 11.5%



財務ベースから実質ベースへの調整

武田薬品工業株式会社



売上収益から実質的な売上収益への調整

(億円)

	15年度 第3四半期	16年度 第3四半期	増減		15年度 第3四半期累計	16年度 第3四半期累計	増減	
売上収益	4,892	4,650	Δ242	Δ 4.9%	13,933	13,158	Δ774	Δ 5.6%
為替影響*	Δ236	147	+8.0pp		Δ837	308	+8.4pp	
為替影響*除き売上収益	4,656	4,798	+141	+ 3.0%	13,095	13,467	+371	+ 2.8%
事業等の売却影響**	Δ295	Δ116	+4.3pp		Δ867	Δ337	+4.5pp	
実質的な売上収益	4,361	4,682	+321	+ 7.4%	12,228	13,130	+902	+ 7.4%

* 為替影響は、前期および当期に、16年度計画レート(1ドル=110円、1ユーロ=125円)を適用して算出しています。

**事業等の売却影響には、日本の長期収載品、肥満症治療剤コントレップ、呼吸器系疾患領域の製品にかかる売却影響やMyovant社へのrelugolixの導出影響等を含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載していますエクセルの調整表をご参照ください。



営業利益から実質的なCore Earningsへの調整

(億円)

	15年度 第3四半期	16年度 第3四半期	増減		15年度 第3四半期累計	16年度 第3四半期累計	増減	
営業利益	570	554	△17	△ 2.9%	1,675	2,174	+499	+ 29.8%
無形資産の償却費および減損損失	325	265	△60		971	1,022	+50	
その他の営業収益/費用	34	155	+121		32	△913	△945	
Core Earnings	929	973	+44	+ 4.7%	2,679	2,283	△395	△ 14.8%
為替影響*	△34	11	+45		△186	39	+224	
事業等の売却影響**	△260	△80	+180		△762	△183	+579	
実質的な Core Earnings	636	904	+268	+ 42.2%	1,731	2,139	+408	+ 23.5%

* 為替影響は、前期および当期に、16年度計画レート(ドル=110円、1ユーロ=125円)を適用して算出しています。

**事業等の売却影響には、日本の長期収載品、肥満症治療剤コントレップ、呼吸器系疾患領域の製品にかかる売却影響やMyovant社へのrelugolixの導出影響等を含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載していますエクセルの調整表をご参照ください。



当期利益から実質的なCore当期利益への調整

(億円)

	15年度 第3四半期	16年度 第3四半期	増減		15年度 第3四半期累計	16年度 第3四半期累計	増減	
当期利益	593	414	△179	△ 30.2%	1,136	1,657	+520	+ 45.8%
EPS	76 円	53 円	△ 23 円	△ 29.9%	145 円	212 円	+ 67 円	+ 46.3%
無形資産の償却費および減損損失	218	175	△43		654	683	+29	
その他の営業収益/費用	△20	108	+128		2	△617	△618	
企業結合会計に係る影響の調整	21	5	△16		64	68	+4	
その他の非正常項目の調整	△11	—	+11		25	△0	△25	
Core当期利益	801	702	△98	△ 12.3%	1,881	1,792	△90	△ 4.8%
Core EPS	102 円	90 円	△ 12 円	△ 12.0%	240 円	229 円	△ 11 円	△ 4.4%
為替影響*	△37	29	+66		△79	64	+143	
事業等の売却影響**	△175	△75	+100		△534	△184	+349	
実質的なCore当期利益	589	657	+68	+ 11.5%	1,268	1,671	+403	+ 31.7%
実質的な Core EPS	75 円	84 円	+ 9 円	+ 11.5%	162 円	213 円	+ 51 円	+ 31.7%

* 為替影響は、前期および当期に、16年度計画レート(ドル=110円、1ユーロ=125円)を適用して算出しています。

**事業等の売却影響には、日本の長期収載品、肥満症治療剤コントレップ、呼吸器系疾患領域の製品にかかる売却影響やMyovant社へのrelugolixの導出影響等を含めています。

(注) 財務ベースからCoreベース、Coreベースから実質ベースへの調整については、ウェブサイトに掲載していますエクセルの調整表をご参照ください。



2016年度マネジメントガイダンスの2015年度ベースライン

(億円)	2016年10月28日	15年度		2017年2月1日	15年度
売上収益	18,074	18,074	➔	売上収益	18,074
為替影響*	△913	△913		為替影響*	△913
テバ社との合併会社への長期収載品の移管	△817	△817		テバ社との合併会社への長期収載品の移管	△817
呼吸器系ポートフォリオの売却	△207	△207		呼吸器系ポートフォリオの売却	△213
コントレブの権利返還	△63	△63		コントレブの権利返還その他	△78
実質的な売上収益	16,075	16,075		実質的な売上収益	16,054
<hr/>					
営業利益	1,308	1,308	➔	営業利益	1,308
製品等に係る無形資産償却費及び減損損失	1,318	1,318		製品等に係る無形資産償却費及び減損損失	1,318
その他の営業収益	△209	△209		その他の営業収益	△213
その他の営業費用	444	444		その他の営業費用	444
その他	63	63		その他	63
Core Earnings	2,924	2,924		Core Earnings	2,920
為替影響*	△170	△170		為替影響*	△170
売却(テバ社、呼吸器系ポートフォリオ、コントレブ)	△953	△953		売却(テバ社、呼吸器系ポートフォリオ、コントレブ、和光等)	△919
実質的なCore Earnings	1,801	1,801		実質的なCore Earnings	1,830

* 同一為替レート(16年度計画レートの1ドル=110円、1ユーロ=125円 等)を適用し影響額を算出しています。



Project Summit

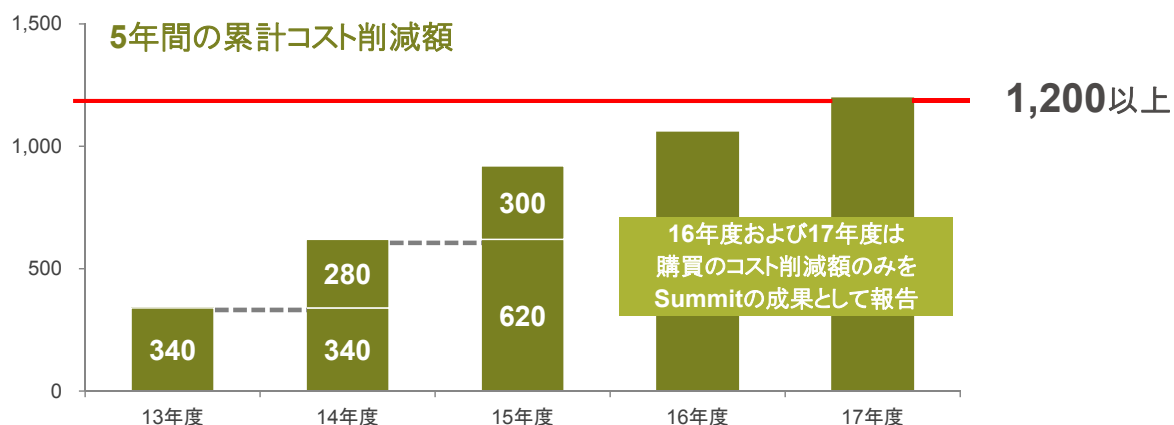


Project Summitは計画を上回る進捗

	13-15年度 (累計)	16年度第3四半期 (累計実績)	13-17年度 (累計目標)
コスト削減額	920	130*	1,200以上
導入一時費用	690	80	1,000上限

(億円)

* 16年度第3四半期累計コスト削減額内訳: 25% コマーシャル、32% R&D、20% 製造・供給、23% 一般管理

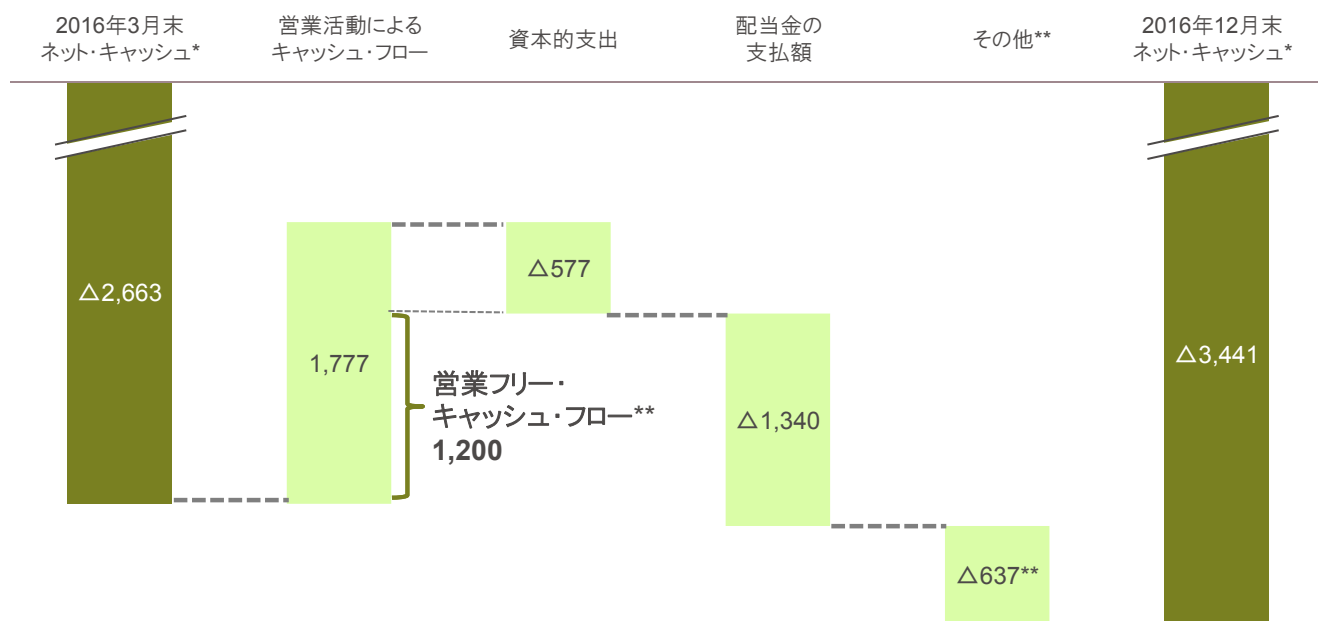


ネット・キャッシュ



2016年12月末ネット・キャッシュ

(億円)



*現金及び現金同等物(期末から1年以内に決済予定の短期投資を含む)から為替レートをヘッジしたベースの有利子負債を控除して算定しています。

**「その他」には新興国の事業開発案件(デュー・デリジェンスとその他のクロージング条件が満たされた後に完了予定)にかかるエスクロー口座への支払い408億円と、将来ロイヤリティ支払いにかかる権利を買い戻した157億円の支払いが含まれます。これら支払いは営業フリー・キャッシュ・フローから除いています。



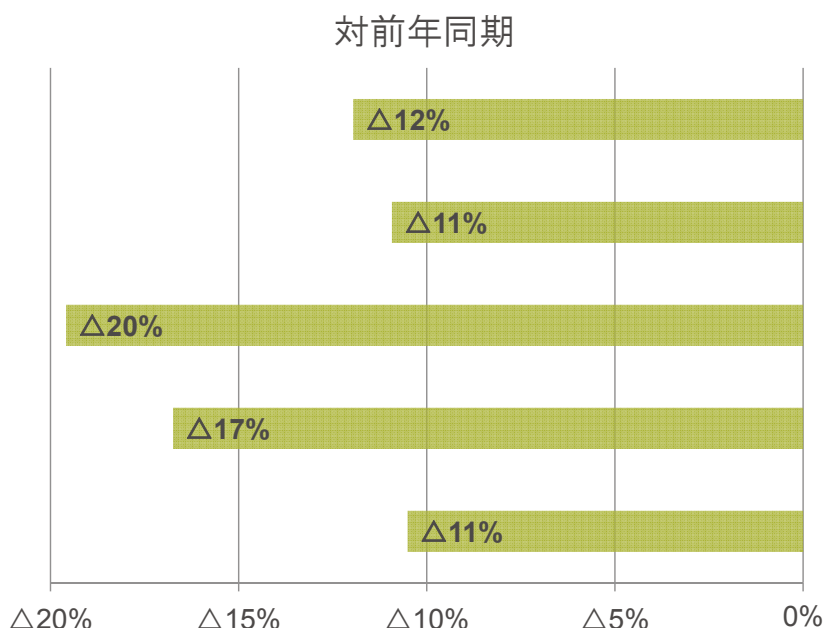
為替レート



2016年度第3四半期累計 平均為替レート

平均為替レート (円)*

	15年度 第3四半期 累計	16年度 第3四半期 累計
USD	121.68	107.13
EUR	133.64	119.03
RUB	2.05	1.65
CNY	19.37	16.13
BRL	35.57	31.83



*各月の前月末レートの平均



月次実勢レートおよび公表予想レート

(円)

実勢レート*	15年度					16年度				
	USD	EUR	RUB	CNY	BRL	USD	EUR	RUB	CNY	BRL
4月	120	130	2.1	19.3	37.2	112	127	1.7	17.4	31.2
5月	119	130	2.3	19.1	40.8	111	126	1.7	17.1	31.6
6月	124	136	2.4	20.0	39.2	111	124	1.7	16.9	31.1
7月	123	138	2.2	19.7	39.3	103	114	1.6	15.5	31.9
8月	124	136	2.1	20.0	36.8	105	117	1.6	15.7	32.0
9月	122	136	1.9	19.0	34.0	103	115	1.6	15.4	31.8
10月	120	135	1.8	18.8	29.5	101	113	1.6	15.2	31.0
11月	121	133	1.9	19.1	31.5	105	115	1.7	15.6	32.7
12月	123	130	1.8	19.2	31.9	112	120	1.7	16.3	33.1
平均	122	134	2.0	19.4	35.6	107	119	1.6	16.1	31.8

*各月の前月末レートを適用

(円)

公表予想レート	16年度				
	USD	EUR	RUB	CNY	BRL
1-3月平均	115	122	1.9	16.7	35.8
4-3月平均	109	120	1.7	16.3	32.8



2016年度第3四半期 パイプラインの状況

	Phase 1			Phase 2		Phase 3 / Filed	LCM		
Oncology	TAK-202 CDK2 antagonist Solid Tumors	TAK-580 Pan-Pan Kinase Inhibitor Solid Tumors	TAK-931 COG2 Inhibitor Solid Tumors	PEVONEDISTAT H4S Inhibitor HIV/MO2	TAK-228 mTORC1/2 Inhibitor Breast Cancer, Endometrial Cancer, Pancreatic Cell Cancer		ADCETRIS CD30 ADC Relapsed/Refractory HL, Relapsed/Refractory sALL, Consolidation in Post-SCT HL, Relapsed CD30+ CTCL, Frontline MTCL	NINLARO Proteasome Inhibitor Relapsed/Refractory MM, Amyloidosis, MM Maintenance, Post-SCT, MM Maintenance, Post-SCT, Newly Diagnosed MM	Cabozantinib Multi-targeted kinase inhibitor Solid Tumors (JP)
	TAK-243 UAE Inhibitor Solid Tumors	TAK-659 SH2PT2 Kinase Inhibitor Hematologic Malignancies and Solid Tumors	XMT-1522 HER2 dotaxin ADC HER2 positive solid tumors						
GI	ATC-1906 CCK1R receptor antagonist Gastroesophagus	TAK-928 FGFR3 Inhibitor against Colorectal Disease	TAK-954 SH2 Kinase Inhibitor against Enteral Feeding Intolerance			Cx601 Allogenic adipose-derived stem cells Percutaneous Coronary Intervention	AMITIZA Chloride channel activator New Formulation (initially for CIC and CIC), Pediatric Functional Constipation	ENTYVIO JAK2 Inhibitor PSC, CDUC, Cholelithiasis, CDUC, Japan, CDUC, Sub-Q, LC, Adiponectin, PSC, Cystic Prophyllaxis, IC Colitis	TAKECAB P-CAB NERD (JP), ARD (Asia), PPI Partial Responder
CNS	TAK-044 GPR139 agonist Schizophrenia, neg. symptoms	TAK-071 M1PRAM Alzheimer's Disease	TAK-831 DAAG Inhibitor ADHD, Schizophrenia, Negative symptoms, and CDAC			AD-4833 TOMM40 Mitochondrial growth modulator Diet of MCI	Rasagiline MAO-B Inhibitor Parkinson's (JP)	TRINTELLIX Multimodal anti-depressant ADHD, Cognition in MDD, MDD (JP)	
	TAK-058 5-HT2 antagonist GAD67 Cognitive impairment associated with schizophrenia	TAK-653 AMPAAR potentiator Treatment Resistant Depression	TAK-935 CNS Inhibitor Park. Dementia, Epilepsies						
Vaccines	TAK-021 Enterovirus 71 vaccine			TAK-214 Norovirus vaccine		TAK-003 Dengue virus vaccine			
Others	TAK-020 BTK Inhibitor SMA	TAK-079 Aβ-CD38 Inhibitor Systemic Lupus Erythematosus		Namplumab Aβ Dβ-CDP Inhibitor SMA, Parkinson		Relugolix (TAK-385) GnRH antagonist Uterine Fibroids, Endometriosis, Prostate Cancer	Aziliva ARB Hypertension (FDC)		

Better Health, Brighter Future

